

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年8月9日(2022.8.9)

【公開番号】特開2022-10327(P2022-10327A)

【公開日】令和4年1月14日(2022.1.14)

【年通号数】公開公報(特許)2022-006

【出願番号】特願2021-186368(P2021-186368)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 316 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月1日(2022.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の発射操作に基づいて遊技領域へ遊技球を発射可能な発射手段と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な入球部と、

前記入球部への遊技球の入球に基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段の取得した特別情報を、複数の数として予め定められた所定数を上限として記憶する情報記憶手段と、

前記情報記憶手段に記憶されている特別情報が、予め定められた付与情報に対応しているか否かの付与判定処理を行う付与判定手段と、

所定の報知手段にて遊技回用動作を開始し、前記付与判定の判定結果に対応した報知結果として前記遊技回用動作が終了することを遊技回の1回として、各遊技回の前記遊技回用動作が行われるように制御する遊技回制御手段と、

前記遊技領域に設けられ、前記入球部に遊技球を受入可能又は受け入れ易い第1状態と、前記入球部に遊技球を受入不能又は前記第1状態よりも受け入れにくい第2状態と、に切り換わり可能な可変受入手段と、

前記可変受入手段を前記第2状態から前記第1状態とし、その後、前記第2状態とする可変受入制御を実行する可変制御手段と、

予め定められた移行条件が成立したことに基づいて、前記可変受入制御が複数回行われる特定状態に移行させる状態移行手段と、

を備え、

40

前記特定状態にて実行される複数回の前記可変受入制御において、先の前記可変受入制御の実行にて前記入球部に遊技球が入球した場合に、当該入球に対応する前記遊技回である入球対応遊技回の終了後に後の前記可変受入制御を実行可能に構成されており、

前記可変制御手段は、前記特定状態において、先の前記可変受入制御が開始されてから後の前記可変受入制御が開始されるまでの期間が特定期間となるように前記第1状態の期間及び前記第2状態の期間を設定する手段を備え、

前記遊技回制御手段は、前記遊技回用動作の動作期間を設定する動作期間設定手段を備え、

前記動作期間設定手段は、前記入球対応遊技回の前記動作期間として前記特定期間よりも短い期間を設定可能な手段を備え、

50

前記遊技回制御手段は、

予め定められた複数の遊技回用期間から 1 つを選択する選択手段と、

前記選択手段により選択された前記遊技回用期間を前記遊技回用動作の動作期間として設定する遊技回用期間設定手段と、

を備え、

複数の前記遊技回用期間には、第 1 遊技回用期間と、当該第 1 遊技回用期間よりも長い第 2 遊技回用期間と、が含まれてあり、

前記第 1 遊技回用期間が前記特定期間よりも短い期間であり、前記第 2 遊技回用期間が前記特定期間よりも長い期間であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

所定の発射操作に基づいて遊技領域へ遊技球を発射可能な発射手段と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な入球部と、

前記入球部への遊技球の入球に基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段の取得した特別情報を、複数の数として予め定められた所定数を上限として記憶する情報記憶手段と、

前記情報記憶手段に記憶されている特別情報が、予め定められた付与情報に対応しているか否かの付与判定処理を行う付与判定手段と、

所定の報知手段にて遊技回用動作を開始し、前記付与判定の判定結果に対応した報知結果として前記遊技回用動作が終了することを遊技回の 1 回として、各遊技回の前記遊技回用動作が行われるように制御する遊技回制御手段と、

前記遊技領域に設けられ、前記入球部に遊技球を受入可能又は受け入れ易い第 1 状態と、前記入球部に遊技球を受入不能又は前記第 1 状態よりも受け入れにくい第 2 状態と、に切り換わり可能な可変受入手段と、

前記可変受入手段を前記第 2 状態から前記第 1 状態とし、その後、前記第 2 状態とする可変受入制御を実行する可変制御手段と、

予め定められた移行条件が成立したことに基づいて、前記可変受入制御が複数回行われる特定状態に移行させる状態移行手段と、

を備え、

前記特定状態にて実行される複数回の前記可変受入制御において、先の前記可変受入制御の実行にて前記入球部に遊技球が入球した場合に、当該入球に対応する前記遊技回である入球対応遊技回の終了後に後の前記可変受入制御を実行可能に構成されており、

前記可変制御手段は、前記特定状態において、先の前記可変受入制御が開始されてから後の前記可変受入制御が開始されるまでの期間が特定期間となるように前記第 1 状態の期間及び前記第 2 状態の期間を設定する手段を備え、

前記遊技回制御手段は、前記遊技回用動作の動作期間を設定する動作期間設定手段を備え、

前記動作期間設定手段は、前記入球対応遊技回の前記動作期間として前記特定期間よりも短い期間を設定可能な手段を備え、

前記遊技回制御手段は、

予め定められた複数の遊技回用期間から 1 つを選択する選択手段と、

前記選択手段により選択された前記遊技回用期間を前記遊技回用動作の動作期間として設定する遊技回用期間設定手段と、

を備え、

複数の前記遊技回用期間には、第 1 遊技回用期間と、当該第 1 遊技回用期間よりも長い第

10

20

30

40

50

2 遊技回用期間と、が含まれてあり、

前記第1遊技回用期間が前記特定期間よりも短い期間であり、前記第2遊技回用期間が前記特定期間よりも長い期間であることを特徴とする。

10

20

30

40

50